

令和5年度 第4回 藤沢市立鵜沼中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年 12月 14日 (木) 9時半～

場 所 鵜沼中学校パソコン室 本館3階

出席委員	渡邊 美子 (会長・鵜沼ふれあいトライアングル会長) 小路 成明 (副会長・鵜沼中学校 校長) 和田 まや子 (鵜沼地区青少年育成協力会委員) 後藤 渉 (鵜沼中学校 PTA 会長) 山口 秀俊 (鵜沼市民センター長) 鈴木 茂和 (元鵜沼中学校校長) 雨澤 義則 (元鵜沼中学校 PTA 会長) 長谷川 友子 (元鵜沼中学校 PTA 副会長) 加瀬 晶 (鵜沼中学校 教頭) 足達 航 (鵜沼中学校 教務主任) 以上 10 名
次第	1. 前回第3回の議事録 内容確認 2. 議題について検討 議題 「学校運営や子どもを取り巻く状況・課題把握・解決策について」 3. 学校施設見学 (11:00～11:30) 【鵜 (くぐい) ルーム】の視察 4. その他 5. 閉 会 (11時45分)

2. について

加瀬委員・・・年度後期から支援ルームの運用を始めた。不登校、行き渋りの生徒個々の状況が様々なので、その子に合わせた対応をする必要があり、まだ手探りの現状がある。

山口委員・・・‘地域の縁側’を支援の場とする取り組みも出てきた。ただ、場所というより支援する人材確保が求められる。

小路副会長・・・ある地域では地域住民が主導して商店街の中に子どもたちの居場所をつくって受け入れる取り組みが始まったとのこと。そういったケースもある。

渡邊会長・・・児童館では不登校児の保護者からの要望があり、日中の受け入れをしようとしているが、実際には人員配置を含めて対応に苦慮しているようである。

雨澤委員・・・実際に支援ルームを動かし始めたことで課題が見えてくる。やはり人が大切。マンパワーの創出をどのようにしていくか？生徒さんと関わるうえで、資格が必要なのか？

加瀬委員・・・学習支援員は教員免許が必要だが、介助員であれば免許がなくても見守りが可能。理想としては毎日でも支援ルームをオープンしたいが、やはり4,5名の人員が必要。

後藤委員・・・情報がバラバラにある感が否めない。例えば本会で必要なことを取りまとめて、市に提言していくことも良いかもしれない。

鈴木委員・・・市内の学校では少しずつ支援ルームができ始めているが、まだネットワークの構築に時間がかかりそう。色々な選択肢があって、その子に合わせた支援ができることが理想であり、そのためには環境整備・情報整理が必要。

3. について

「支援（鵜・くぐい）ルーム」および学校校舎全般も視察。グラウンドの砂の問題も大きい。校舎改築を数年後に控えているが、校舎の老朽化が顕著である。

支援ルームは、いまだ教室然である。もっと明るい雰囲気、机や椅子にも工夫が必要。利用している生徒と支援する大人と一緒に壁を塗る、飾り物をするなどしても楽しいのでは。部屋作りに協力することで愛着がわくということもあるかと思う。居心地の良い場を。

4. について

小路副会長・・・10月6日に予定されていた鵜祭・合唱の部は、その前週からコロナやインフルエンザ罹患による欠席者が多くなってきたことによる学級閉鎖・学年閉鎖の影響で、延期の判断をせざるをえなかった。ちょうど10月26日に市民会館の空きがあるということで、その日に振り替え開催となった。コロナ禍においては完全なかたちで開催出来ていなかったが、今年度は昼食も挟む一日がかりの素晴らしい歌声の響く合唱祭となった。

3年生は三者面談を終えて具体的に進路を考える時期。明日15日は私学の進路相談に行く予定。一年生は本日、鎌倉散策に元気に行っている。二年生は一か月前に横浜へ行ったが来年度修学旅行時の班別行動の良い練習になったのではないかと。3月12日の今年度卒業式では皆さんのお席を設ける予定で、列席を賜りたい。参列者の紹介の仕方を工夫する。

来年度は地域の全ての学校で学校運営協議会が発足するので、他校との連携も図りたい。

和田委員・・・参列者の紹介は簡素化していただきたい。市内一律ですればよいのでは。

加瀬委員・・・なかなか保護者の方に学校の様子を知ってもらえないなと思ったのと地域の方々にも学校のことを知ってもらいたいため、学校HPに「鵜中ダイアリー」として生徒たちの様子をアップしているので、お時間ある時に見ていただけたら。

協議内容

次回開催日程 2024年2月16日(金) 9:30～
場 所 鵜沼中学校パソコン室 本館3階